

所在地

たつの市御津町黒崎

分類区分

干潟

現存状態

現存

保全制度

国立公園

概要

この地点の海岸は、瀬戸内海国立公園中の主要な景観要素を構成している沈降海岸部分における東端部分に当たる。室津の七曲がりとして親しまれている。黒崎の海岸から沖合へ向けては、数百mの遠浅の海底が広がり、その表面には微妙な勾玉状の砂州模様が描かれることで有名である。

参考文献

-

